

「清流の国ぎふ」文化祭2024
清流の国ぎふ
地芝居・伝統芸能フェスティバル

9/1～11/24までぎふ清流座をはじめ、県内各地の芝居小屋や舞台で30以上の公演が開催されます。岐阜県で大切に受け継がれてきた地芝居の魅力をぜひ堪能ください。

ぎふ清流座公演
●開催日/2024年9月1日(日)、9月23日(月・振替)、10月26日(土)、10月27日(日)、11月12日(火)、11月17日(日)、11月23日(土・祝)
※その他県内各地の公演の情報等はHPをご確認ください。

問い合わせ先
(公財)岐阜県教育文化財団
TEL 058-233-8164



「清流の国ぎふ」文化祭2024
岐阜県の宝
創作オペラシリーズ 3話

県内に伝わる民話や伝説を題材にし、スタッフやキャスト、企画を自ら作り上げる地域密着型のオペラ3話を県内3箇所で開催します。

- 1 グランド創作オペラ「風車の涙」～鶴田神社 尾なし龍伝説～
●開催日/2024年10月20日(日) 14:00開演
●会場/岐阜市民会館(岐阜市)
●料金/一般 2,000円、高校生以下 1,000円
問い合わせ先 グランド創作オペラ「風車の涙」実行委員会事務局 090-9260-1365
- 2 創作オペラ長良川清流物語「白鮎の折り」
●開催日/2024年9月8日(日) 14:00開演
●会場/美濃市文化会館(美濃市)
●料金/一般 2,500円、高校生以下 1,500円
問い合わせ先 美濃音楽劇の会事務局 090-6597-3407
- 3 創作オペラ「森の雫」～合休木の話～
●開催日/2024年11月24日(日) 14:00開演
●会場/恵那文化センター(恵那市)
●料金/一般 2,000円、高校生以下 1,000円
問い合わせ先 恵那音楽劇の会事務局 090-5113-2784



岐阜関ヶ原古戦場記念館 夏季企画展
関ヶ原合戦の前哨戦
—美濃・尾張の攻防—

関ヶ原合戦については、「天下分け目」の戦いとして広く知られていますが、その前哨戦についてはあまり取り上げられてきませんでした。本企画展では、関ヶ原合戦本戦へと至る前哨戦および美濃における局地戦について紹介します。

- 開催日/2024年7月13日(土)～9月1日(日)
- 会場/岐阜関ヶ原古戦場記念館(関ヶ原町)
- 料金/入館料(一般500円/大学生・高校生300円/中学生以下無料)



問い合わせ先
岐阜関ヶ原古戦場記念館
TEL 0584-47-6070



受講までの流れ



要・事前申し込み

アートラボぎふの全プログラムは、展示会を除き、完全予約制となっております。1人でも多くの方に参加・体験いただくために、参加の可否に関しては事務局よりご連絡いたします。また、キャンセルが発生した場合、事務局から改めてご連絡させていただきます。WEBまたはFAXでお申し込みください。

WEBでの申し込みはこちら

アートラボぎふ
ONLINE内、
各プログラムページ
からお申し込みください。



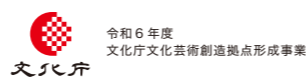
FAXの場合は下記の必要事項をご記入の上、お申し込みください。 FAX 0584-71-6130

プログラム名 ご希望のプログラム名を記入してください(複数記入可)		※展示会は事前申込不要です。					
代表者	ご住所					性別(自由記載)	年齢
	お名前 必須	よみがな ()					歳
	電話番号 必須	メールアドレス					
ご参加人数 名 (代表者様も含めた合計人数)	2名以上で参加される方はお連れ様全員のお名前(よみがな)・性別(自由記載)・年齢をご記入ください	よみがな ()	性別(自由記載)	歳	よみがな ()	性別(自由記載)	歳
		よみがな ()	性別(自由記載)	歳	よみがな ()	性別(自由記載)	歳

※諸事情により、内容の変更、開催時期の延期または中止とする場合があります。※お申込み情報は本事業の運営のみに使用させていただきます。

お問い合わせ アートラボぎふ事務局
受付 9:00～18:00(土日・祝日除く)

TEL 0584-71-6133
EMAIL artlabgifu@ne-planning.com



ウェブサイト
www.gifu-art.jp/art-labo/

第7回 アートラボぎふ

ART
LAB
GIFU

the 7th 2024 — 2025

第39回国民文化祭 第24回全国障害者芸術・文化祭

「清流の国ぎふ」文化祭2024

ともに・つなぐ・みらいへ～清流文化の創造～

「清流の国ぎふ芸術祭」のひとつ、アートラボぎふは、岐阜県内各地を舞台にアートに触れ、親しみ、発信できるアート体験プログラム。一流の講師を迎えてアートとの出会いの場(ラボ)として、想像する楽しさ、手仕事の奥深さ、伝統に息づく岐阜の魅力にもアプローチしていきます。

7年目を迎えるアートラボぎふは、「本物」のアート体験をご用意して、あなたをお待ちしております。

講師陣

神戸峰男 彫刻家・日本芸術院会員・名古屋芸術大学名誉教授

長谷川喜久 日本画家・名古屋芸術大学教授

神戸智行 日本画家

立島恵 佐藤美術館学芸部長

野村佐紀子 写真家

ひびのこづえ コスチュームアーティスト

波多野公一 岐阜県書作家協会常任理事

主催 / 岐阜県・公益財団法人岐阜県教育文化財団



一流のアーティストによる体験プログラム
アートが紡ぐ、清流文化

ART LAB GIFU the 7th

アート体験プログラム

彫刻実技講座

私の大好きなもの



写真は昨年の講座の様子です

動物等(人・魚・鶏・その他なんでも可)を制作焼成。講師による作品制作へのアドバイス等も受けながら楽しく彫刻を学びます。2回目は完成した作品を鑑賞しながら講座「美の世界」を行います。

●料金/1,000円 ●定員/20名 ●持ち物/スケッチブック、鉛筆、作業着(エプロン等)、タオル 作るものの写真やイラストなど

講師 神戸峰男 KAMBE Mineo
彫刻家・日本芸術院会員・名古屋芸術大学名誉教授

1944年 岐阜県生まれ
1988年 名古屋芸術大学美術学部教授就任
2012年 日本芸術院会員就任
2018年 公益社団法人「日展」副理事長就任



アートのお悩み相談会 & 作品講評会



写真は昨年の講座の様子です

9/22(日)14:00~18:00

会場/スペースマルマツ(岐阜市東材木町35)

創作活動を行う方だけでなく、鑑賞者、ギャラリスト、コレクターなど美術に興味がある方、誰をも対象としたプログラムとしてスタートしました。今年も今まで通り幅広くアートに関する疑問、質問にお答えしていきたいと思ひます。同時に参加者の多くは制作者が占めます。相談会とあわせて作品へのアドバイスもおこなうため、制作者はできるだけ実作(大作可)を持参頂き(持参不可能な場合は画像も可)それを言わば公開講評のようなかたちでアドバイスしていきます。

●料金/無料 ●定員/10名 ●対象/幅広くアートに関するお悩みをお持ちの方(見学のみのご参加もいただけます) ●持ち物/作品制作に関するお悩みをお持ちの場合、ご自身の作品+ポートフォリオ、若しくはその何れか

講師 立島恵 TATEJIMA Kei
佐藤美術館学芸部長

1990年佐藤美術館設立当初より学芸員として運営に参加。佐藤国際文化教育財団の奨学金プログラムの構築、若い作家に対する支援活動、展覧会等を行い今日に至る。現在 公益財団法人佐藤国際文化教育財団理事、学校法人杉並学院評議員、名古屋芸術大学特別客員教授、広島市立大学非常勤講師、沖縄県立芸術大学非常勤講師、武蔵野美術教育研究所所長、絵画のつくば賞審査員長、デビュー新人賞審査員長、日本水墨画大賞審査員



ゲスト講師/長谷川喜久 福本百恵
(日本画家・名古屋芸術大学教授) (日本画家・名古屋芸術大学非常勤講師)

写真実技講座

- BUNTSU 4 -



写真は昨年の講座の様子です

[第1回] 10/12(土) 11:00~16:00

会場/ぎふワールド・ローズガーデン(可児市瀬田1584-1) ※2回シリーズの連続講座です。

「写真は想いが伝わる」。写真による文通を通して、多様な人々と交わり、想いを伝える写真の撮り方を学びます。文通と言っても手紙による言葉のやりとりではなく、テーマにまつわる写真を撮影して、交換します。第1回目の講座では、講師である野村佐紀子があなたのポートレートを撮影します。撮ること、撮られることの両方を体験できる講座です。約2か月間に渡る文通の後、第2回目の講座でお互いがやりとりした作品を持ち寄り、二人のオリジナル写真集を完成させます。

[第2回] 12/22(日) 11:00~17:00

●料金/1,000円 ●定員/15名 ●持ち物/撮影機材(機材は問いません、スマホ等でも参加可能です。)

講師 野村佐紀子 NOMURA Sakiko 写真家

九州産業大学芸術学部写真学科卒業。91年より荒木経惟に師事。主に男性の裸体を中心とした独特な世界を探究し続ける。93年より国内外で展覧会をおこなう。主な写真集に「裸/時間」(平凡社)、「黒闇」(Akio Nagasawa Publishing)、「海1967 2022 下関 東京」(リトルモア)など多数。2025年2月には、Fundación MAPFRE (Madrid) で展覧が開催される。



篆刻実技講座

古の文字を印に刻む4



講師作「壹天」二種

12/1(日) 10:00~17:00

会場/ワイワイプラザ垂井(不破郡垂井町1532番地の1)

漢字最古の書体である篆書を石に刻む篆刻(てんこく)。篆書を学び、古代の文字に親しみながら、多様な印を鑑賞・分析することが、より自由な印を作るヒントとなります。印刀の使用法や印面構成のコツ等、篆刻の工程を実演しアドバイスします。印の完成までを体験します。

[後援:垂井町教育委員会]

●料金/500円 ●定員/10名 ●対象/高校生以上 ●持ち物/書道用具(硯、半紙用太筆、墨汁、毛氈、文鎮など) ※お持ちでない方も参加できます。篆刻の道具は貸し出しします。希望の方には道具の販売も行います。

講師 波多野公一 HATANO Koichi
岐阜県書作家協会常任理事

日展会友、読売書法会理事、謙慎書道会常任理事、全日本篆刻連盟理事、岐阜県書作家協会常任理事。深遠な書と篆刻の世界に魅了され研究を続けている。



ゲスト講師/滑田耀齋 安島可奈子
(日展会友・東京学芸大学講師) (日展入選・読売書法会幹事)

1946年から2015年まで、69回の歴史を刻んだ「岐阜県美術展」は、全国規模の企画公募展「Art Award IN THE CUBE(AAIC)」(2017年・2020年・2023年の3回開催)、県民に広く発表機会を提供する「ぎふ美術展」(2018年・2019年・2021年・2022年・2024年開催)、そして年間を通じて県内各地で様々なアートに親しむ「アートラボぎふ」(2018年から毎年開催)の3つの柱からなる「清流の国ぎふ芸術祭」に生まれ変わりました。7年目を迎える「アートラボぎふ」は、会場となる「場の力」にもこだわりながら、大人も子どもも県民の誰もがアートに出会い、触れ、知り、発信できる体験プログラムとして、また、本年は「清流の国ぎふ」文化祭2024を意識した特別プログラムを編成・提供し、「ぎふ美術展」や「AAIC」への参加にもつながる内容を提供します。

特別プログラム

raison d'être 現代ニホンガのレゾンデートルー千年を未来につむぐー



後楽荘



スペースマルマツ

長谷川喜久 HASEGAWA Yoshihisa

日本画家、名古屋芸術大学教授

1999年 日展特選(同)01/05会員賞/18東京都知事賞
2011年 上海美術館主催 長谷川喜久展(上海美術館)
2014年 現代日本画の世界サテライト長谷川喜久展(岐阜県美術館)
2016年 建仁寺塔頭西院 屏風奉納
2019年 瑞龍寺 塔頭 天海院 双龍図襖 制作
2021年 長谷川喜久日本画展 感情と記憶のカチ1991-2021(佐藤美術館)
2022年 日展 文部科学大臣賞受賞
2023年 岐阜市民栄誉賞受賞
個展、グループ展多数
現在 日展特別会員 新日春会会員 名古屋芸術大学教授



撮影 STUDIO C-PWS 高山栄一

神戸智行

KAMBE Tomoyuki

日本画家

1975年岐阜市生まれ。多摩美術大学大学院修了。身近な自然や生き物を描いた「イノセントワールド」シリーズを展開して注目を集め、個展を中心に国内外で活躍を続ける。2008・09年文化庁在外研修員として米国ボストンにて研修。2024年7月6日~9月8日には岐阜県美術館にて「神戸智行一千年を描くー」を開催。



[展覧会] 9/14(土) ~ 9/23(月) 11:00~16:00

※最終入館15:30まで

会場/後楽荘(岐阜市本町1-31) スペースマルマツ(岐阜市東材木町35)

日本の伝統絵画を総称して「日本画」と呼ばれていた時代から、「現代」の日本画は変わってきています。アートラボぎふでは、この6年間、あらたな日本画表現にチャレンジしてきた集大成として「清流の国ぎふ」文化祭2024特別企画の日本画展覧会を実施します。会場には金華山・岐阜城を眺望できる広大な日本庭園とともに岐阜町の歴史と伝統文化を伝える「後楽荘」にて、古

典技法に加え、独自の技法でさまざまな絵画表現にチャレンジし続けている日本画家の長谷川喜久、神戸智行のお二人を軸に、若手作家3名の作品を展示します。また、過去の日本画実技講座参加者の作品群を、旧和紙問屋をリノベーションした「スペースマルマツ」に展示。6年間の過程を振り返ります。

出展作家 長谷川喜久、神戸智行、林真、福本百恵、帆刈晴日

●料金/無料 ●予約不要
※過去の日本画実技講座受講者の作品をスペースマルマツにて展示

[クロストーク] 9/22(日)10:30~12:00

会場/岐阜市歴史博物館(岐阜市大宮町2丁目18-1 岐阜公園内)

日本で生まれたからニホンガ? 日本人が描くから、日本画の画材や素材を使用するからニホンガ? そんな日本画の「レゾンデートル」について、長谷川喜久と神戸智行、そして若手作家の育成に尽力され、アートラ

ボぎふでも「アートのお悩み相談」で講師をつとめる立島恵、アートラボぎふダイレクター古田菜穂子とその世界や魅力について語ります。

講師 長谷川喜久、神戸智行、立島恵

ファシリテーター 古田菜穂子(アートラボぎふダイレクター)

●料金/無料 ●定員/170名

「清流の国ぎふ」文化祭2024 アートラボぎふ特別企画

パフォーマンス/Rinne×牟田のどか×貝ヶ石奈美×川瀬浩介 ワークショップ/ちいさな生きものブローチ作り



「Rinne」PH 出口敏行



パフォーマンス「Rinne×牟田のどか×貝ヶ石奈美×川瀬浩介」海から広がってきたひびのこづえの不思議な衣装と、川瀬浩介の音楽に合わせて2人のキュートなダンサーが踊るパフォーマンス「Rinne」を上演します。場所とパフォーマンスの関係性にもこだわり、会場を岐阜県庁舎20階の「清流ロビー」とし、岐阜県を360度で俯瞰できるその空間を活かし、場の力と観客との関係性もひとつひとつの表現に影響を与えることを体感できます。

ワークショップ「ちいさな生きものブローチ作り」ひびのこづえが舞台やテレビの仕事で衣装を作ったときに残ったきれいな生地や衣装の断片を使って、きれいな色の糸でチクチク縫いながら、ちいさな生きものブローチを作ります。絵を描くことや縫い物が苦手でも大丈夫です。

[ワークショップ] 10/19(土)13:00~15:30 20(日)10:00~12:30

[パフォーマンス] 10/19(土)16:00~17:15 20(日)14:00~15:15

会場/岐阜県庁20階(岐阜市数田南2丁目1番1号)

●料金/無料
●定員/ワークショップ:50名 パフォーマンス:200名(予定)
●対象/ワークショップ:4歳から大人まで(小学生以下は保護者も参加。付き添いのみの参加NG)
●持ち物/ワークショップ:筆記用具、色鉛筆、ハサミ(できれば布用)

講師 ひびのこづえ HIBINO Kodue
コスチュームアーティスト

静岡県生まれ 東京藝術大学美術学部デザイン科卒業。コスチュームアーティストとして広告、演劇、ダンス、バレエ、映画、テレビなどその発表の場は、多岐にわたる。1997年作家名を内藤こづえより改める。NHK Eテレ「にほんごであそぼ」のセット衣装を担当。2024年野田秀樹作・演出の舞台「正三角関係」衣装担当。奥能登国際芸術祭2023参加。8/23「UP AND DOWN」サラマンカホールにて上演。「TYM traveling your memory」をはじめとするダンスパフォーマンスを多数展開中。珠洲応援ダンスプロジェクト発足。



アートラボぎふ写真実技講座特別展示 BUNTSU-10週間の対話記録-



みんなの森ぎふメディアコスモス

写真家野村佐紀子による写真実技講座「BUNTSU」の過去4年間の参加者の文通作品の展示を行います。見知らぬ相手との文通の中で生まれた、想いを伝える写真たちをご覧ください。あわせて講師が講座内で撮影したポートレートも展示します。

[共催:岐阜市]

1/21(火) ~ 1/27(月) 9:00~21:00

初日は15:00から、最終日は15:00まで

会場/みんなの森ぎふメディアコスモス ドキドキテラス(岐阜市司町40番地5)

●料金/無料 ●予約不要

